



第178回糖尿病教育学習研究会（トップセミナー）
第217回IIDES糖尿病研究会
第152回CDE兵庫県連合会研究会
—合同研究会のご案内—



日時：2024年3月23日（土） 14:00～17:15
場所：神戸商工貿易センター 26階 第1会議室
神戸市中央区浜辺通 5-1-14 TEL:078-251-5489

プログラム：

14:00～14:15 住友ファーマ株式会社 —情報提供—

14:15～15:45（座長：松下 健次 医療法人社団 網島会 厚生病院 名誉院長、
NPO法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事）

（14:15～14:45）

糖尿病療養指導士 基礎講座9.

『糖尿病急性合併症(DKA/HHS)に対するインスリン治療』

神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 特定助教 病棟医長 芳野 啓 先生

（14:45～15:45）

講演1. 『サルコペニアと糖尿病-予防と治療について』

阿部内科医院 院長 阿部 泰尚 先生

15:45～17:15（座長：芳野 原 医療法人社団 慈恵会 新須磨病院 常任学術顧問 糖尿病センター長、
東邦大学名誉教授、NPO 法人 国際糖尿病教育学習研究所 理事長）

講演2. 『DKDにおける2型糖尿病の管理』

大阪医科薬科大学 腎臓内科 教授（特別職務担当教員）美馬 晶 先生

注) ① 会場とオンライン同時配信により**ハイブリッド講演会**になります。

② 会場参加定員：**先着43名**（キャンセルができた際には、外れた方順に参加可能のお知らせをいたします。）

③ 会場参加者は必ずマスク着用をお願いします。また、発熱がある方は入場をお断りしますので、体温を測定してからお越しください。

(1) 参加費：2000円

(2) 申込方法：事務局へご氏名、ご所属、職種、ご連絡先、オンライン参加か会場参加か（オンラインの場合、必要な単位申請先）を明記の上、E-mail（パソコンからの発信可能アドレスをお知らせください）、またはFAXにてお願いいたします。

注) CDEJ更新のための認定単位が必要な方はWeb講習は対象外です。また、日病薬薬学認定制度の認定単位が必要な方は、本オンラインでは単位対応できません。会場参加でお願いいたします。

(3) 連絡事務局：特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所（NPO-IIDES）

〒651-1112 神戸市北区鈴蘭台東町7-10-16

TEL:078-591-7515 FAX:078-591-7512

E-mail:yoshino@npo-ides.or.jp

※ 日医生涯教育講座認定 講演1：CC73・05単位、講演2：CC19・1単位、講演3：CC76・1.5単位 申請中

※ 日本糖尿病療養指導士 認定更新のための研修会〈第2群〉1単位（オンライン参加不可）申請中

※ 日病薬薬学認定制度 V-2・2単位（オンライン参加不可）申請中

※ 糖尿病療養指導士兵庫県連合会 認定更新のための研修会 2単位

共催：特定非営利活動法人 国際糖尿病教育学習研究所

糖尿病療養指導士兵庫県連合会

一般社団法人 兵庫県病院薬剤師会

住友ファーマ株式会社

オンライン参加の方へ

1. オンライン参加をお申込みされた方へは、参加費振込先を申込メールアドレスにお送りいたします。
(オンライン参加費振込締切日は3月22日まで。振入手数料は各自でご負担願います。入金された参加費については、返金対応いたしませんのでご了承ください。)
2. 入金確認後、事前登録URLを申込メールアドレスにお送りいたします。
3. 当日オンライントラブル連絡先：住友ファーマ株式会社 窓口 伊藤 (TEL:080-6104-9128)
※ご連絡頂く「個人情報」は本会運営の目的のみに使用させていただきます。

【認定単位の必要な方へ】(単位取得までの流れ)

■ 受講確認のため、受講中に3回キーワードを発表します。必ずメモしてください。

キーワードが全部合致しない場合は、受講したものと認めませんのでご注意ください。

1. 糖尿病療養指導士兵庫県連合会認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、認定番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送りください。

キーワードが合致した方のみ、参加証(単位申請用)を送付いたします。

2. 日医生涯教育講座認定に関して

受講後、当日中に3回のキーワード、ご氏名、所属医師会、医籍番号、送付先住所を事務局メールアドレスにお送り

ください。キーワードが合致した方のみ、受講記録表を送付いたします。

一抄録一

糖尿病療養指導士基礎講座9. 『糖尿病急性合併症(DKA/HHS)に対するインスリン治療』

芳野 啓 先生 神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科 特定助教、病棟医長

糖尿病急性合併症として、糖尿病性ケトアシドーシス(DKA)および高血糖高浸透圧症候群(HHS)が挙げられる。DKAは、1型糖尿病の初発症状として認められる。他に、1型糖尿病患者において、感染症や心血管病などの併発時、インスリンを減量・中止するなどのマネジメントエラーなどの際にも認められる。DKA患者のうち約20-30%が2型糖尿病であったという報告もある。HHSは著明な高血糖、浸透圧利尿に基づく高度の脱水、それらに基づく高浸透圧血症を呈する。脱水の程度はDKAよりも高度であるが、インスリンの相対的欠乏であるため、ケトアシドーシスはあっても軽度にとどまる。DKAおよびHHSは病態が重複することもある。本講演では、糖尿病急性合併症(DKA/HHS)に対するインスリン治療について説明する。

講演1. 『サルコペニアと糖尿病予防と治療について』

阿部 泰尚 先生 阿部内科医院 院長

サルコペニアは加齢に伴う骨格筋の衰えと、日常生活動作低下、フレイル、死亡のリスクを伴う疾患概念で、糖尿病患者ではサルコペニアが起りやすいとされています。超高齢化社会に突入した今、サルコペニアを意識した食事、運動、薬物療法について当院での取り組みにも触れつつ概説します。

講演2. 『DKDにおける2型糖尿病の管理』

美馬 晶 先生 大阪医科薬科大学腎臓内科

DOCT試験はintensiveな血糖コントロールによる心血管イベント抑制を示し、メトホルミンとDPP-4阻害薬の早期使用により良好な血糖コントロールが持続することを示したVERIFY試験は、2型糖尿病治療の早期治療の進め方に示唆を与えるものであった。しかしながら、血糖コントロールだけではDKDの寛解達成は困難である。近年の大規模臨床試験(EMPA-REG Renal OUTCOME, CANVAS program, およびDECLARE-TIMI58)はSGLT2阻害薬による腎保護作用を明らかにした。

本講演では、DKD進展・増悪メカニズムに腎インスリンシグナルの低下が関与し、インクレチン関連薬は腎インスリンシグナルを回復する可能性がある点や糖尿病の治療強化を早期に開始することで目標HbA1cの達成度が高くなるだけでなく、DKDの寛解が得られる可能性がある点についても考えていきたい。

◇会場案内図(神戸商工貿易センター)

■三宮駅(JR)三宮駅(阪急・阪神・市営地下鉄山手線)

下車徒歩10分

■三宮花時計前駅(市営地下鉄海岸線)下車徒歩5分

■三宮駅(ポートライナー)貿易センター駅下車すぐ

